

小谷場中だより

川口市立小谷場中学校

〒333-0857

川口市大字小谷場1156番地

TEL 048(267)1055

FAX 048(267)1069

10月号 令和5年10月1日

教育目標〈自主 協働 創造〉 校訓〈力の限り〉

市長表敬訪問とダンスコンクール全国大会

校長 藤川 悟

あれだけ暑かった夏も終わりを告げ、涼しさを感じる季節となりました。本校では、新人戦を終え、運動会に向けて、生徒たちは団ごとに「力の限り」練習に励んでおります。赤・青・黄と学校全体が3つの団に分かれての運動会となります。各団、3年生を中心によい雰囲気の中、10月7日に向けて準備を進めています。生徒たちには、どんな競技でも順位に関係なく、力の限り一生懸命取り組むことを期待したいと思います。

さて、本校は夏の終わりに大きな出来事が2つありました。一つ目は、環境科学部が文部科学大臣賞を受賞した報告をするために、川口市長に表敬訪問しました。当日は、後援会の浦邊様に同席いただき、埼玉新聞やテレ玉から取材を受け、改めて大きな賞を受賞したことを実感しました。二つ目は、ダンス部が2年連続、全国大会に出場を決めたことです。県から2校のみの出場です。外部指導者の上本紗里先生を中心に、必死にみんなで練習に取り組み、ひとつひとつ課題をクリアしてきた成果だと思います。10月14日の全国大会では、悔いのないよう小谷場中らしく、力の限り表現してください。全力で応援したいと思います。

また、市内の小中学校でコロナやインフルエンザによる学級閉鎖が後を絶ちません。ぜひ、ご家庭でもお子様の健康をよく見ていただき、体調が悪い場合には、無理はしないで、早めに病院へ受診するようにお願いいたします。

(8月31日 埼玉新聞より)



**「自然の大切さ知る」
野生生物保護功労で表彰**

川口・小谷場中

環境省と日本鳥類保護連盟による本年度の野生生物保護功労者表彰で文部科学大臣賞を受けた川口市立小谷場中学校の生徒らが20日、川口市役所を訪れ、受賞を報告した。同校環境科学部は学校近くの野鳥に注目し、年間4回の継続観察や研究を実施。校内のビオトープ池で在来種が生息できるよう清掃や調査を行うほか、校内の人工林「やすらぎの森」ではどのような昆虫や植物が生息しているか調査している。また、地域の環境保護団体が行う外来種除去ボランティアに参加するなど、自然環境保護のための活動も行っている。

同日は藤川悟校長、環境科学部顧問の西牧環教授、同部長で3年生の薩田哲史さん、同副部長で3年生の堀井裕太さんらが奥ノ木信夫市長を表彰訪問し、今回の受賞や日頃の活動を報告した。同部では上谷沼に生息する鳥と環境の変化について調査報告を行っているほか、現在は上谷沼に生息する鳥との共存を目指し、研究も行うという。

薩田さんは「これまでの観察研究を通して、自然の大切さを知った。これからも自然や野鳥を愛する思いを大切に研究したい」と報告。堀井さんは「小谷場中学校が自信をもつて自然豊かで、さまざまな生き物がいるビオトープであること、えるようにこれからも挑戦する」と述べた。(新井藤)